

①学校名:	福岡女子大学 大学(公立)	②所在地:	福岡県福岡市東区香住ヶ丘1-1-1		
③課程名:	女性のためのウェルカムバック支援プログラム	④正規課程/履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	2019年8月26日
⑥責任者:	大学院人間環境科学研究科 特命主幹教授 森田 健 国際文理学部 国際教養学科講師 櫻木 理江	⑦定員:	10	⑧期間:	5ヶ月
⑨申請する課程の目的・概要:	<p>「女性のためのウェルカムバック支援プログラム」は、家庭の事情によって一時的にキャリアを中断している女性を対象とした職場復帰・再就職を目指すための体系的なキャリア支援プログラムである。本プログラムは合計121時間の長期間にわたるプログラムであり、①講義と個人・グループでのワークを主体としたキャリア・デザインやコミュニケーション・スキル等に関する学習と、②1ヵ月程度の有給の長期インターンシップを主体とした実践的学習から構成されている。大学が主体となって実施している復職支援講座において、このように女性のリカレント教育と社会人を対象とした長期のインターンシップを組み込んでいる講座は全国的にもほとんどなく、先駆的な取り組みである。</p>				
⑩4テーマへの該当の有無	「女性活躍」	⑪履修資格:	高等学校卒業以上		
⑫対象とする職業の種類:	企業・団体・行政・NPOなどで一度就職し、その後家庭の事情などによって前職を離れ、再就職をめざしている女性				
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) ・キャリア・デザインに関する知識、自己理解のためのスキル ・コミュニケーション・スキル、セルフ・プレゼンテーション・スキル ・ブレインストーミング、ペイオフマトリックス		(得られる能力) ・自己理解に基づくキャリアプランニング能力 ・自分の強みを伝え、それを活かす能力 ・職務遂行能力を高めるための問題解決力		
⑭教育課程:	<p>本プログラムでは、再就職を目指す受講生が、本当にやりたい仕事でキャリアを実現するために必要な基礎的・汎用的能力を身につけることを目的としている。本プログラムで身につけることのできる能力は、①自己理解に基づくキャリアプランニング能力と②自分の強みを伝え、それを活かす能力、③職務遂行能力を高めるための問題解決力である。習得するこれらの3つの能力に大まかに対応する形で、本プログラムは3部から構成されている。</p> <p>まず、第1部「自分を再発見」においては、自己理解に基づくキャリアプランニング能力を習得するために、自己理解の手法やキャリア・デザインを中心に学ぶ。ここでは、自分自身を改めて見つめ直す作業を通じて、自分が本当になりたい姿について深く考える。その際、単に表面的に自身の職業キャリアや人生全体を振り返るのではなく、その時々背後にあった自分の考えや感情を理解することによって、自分自身に対する理解をさらに深めるで、汎用的能力の育成を目指している。また学びのスタイルとして、受講生一人で考える作業に加え、ワークショップや演習で、同じ志を持つ受講生同士でコミュニケーションを行う。多様なキャリアを歩んできた受講生同士が議論することで、自分一人では気付かなかった自分の魅力に気付いたり、どんな自分になりたいのかがより明確化することができる。</p> <p>続く第2部「自分を磨く」では、自分の強みを伝え、それを活かす能力を身につけるために、コミュニケーション・スキルやセルフ・プレゼンテーション・スキルを学ぶ。より具体的には、アサーション・コミュニケーションや相手のタイプ別コミュニケーションや自信の印象管理(表情・姿勢・身だしなみ)等について、講師によるレクチャーやグループワークによって学ぶ。また、自分自身の強みが伝わりやすく、活かしやすい職場がどこにあるのかということについても、受講者が考えるだけでなく、個別のキャリア・コーチングを通じて講師が学びを支援していく。</p> <p>最後の第3部「新しい自分への再挑戦」は、第1部と第2部で学習してきた内容の実践の場となっている。実践の場として、2つの場が用意されている。第一に、「福女大ウェルカムバックドラフト会議」である。ここでは、インターンシップ先の候補となる複数の企業担当者の前で、自己PRを行い、その後企業との面接を通じてインターンシップ派遣先を決定していく。第二に、1ヵ月間の長期インターンシップである。座学やグループワークで学ぶだけでなく、このように実践の場での経験学習によって、より学習内容が定着することが期待される。なお、PDCAを短期間で回し、学習がより一層深められるよう、インターンシップ期間中にはインターバル講座も実施する。</p> <p>なお、インターンシップ実施前に、職務遂行能力を高めるための問題解決力も習得する。職場や家庭で起こりうる問題を想定しつつ、ブレインストーミングやペイオフマトリックスなどの手法を通じた問題解決について学習していく。ここではケースとして、仕事と家庭の両立のシチュエーションを取り上げて授業を行うが、これによって汎用的に利用可能な問題解決スキルを学ぶことが期待されている。</p> <p>以上のような三部構成の段階的なプログラムで身に着ける種々のスキルや能力を通じて、職場復帰を目指す女性が円滑にそれを実現することができる教育課程となっている。</p>				

⑮修了要件(修了授業時数等):	7割以上の出席及び成績は60点以上の評価で合格とします						
⑯修了時に付与される学位・資格等:	履修証明書						
⑰総授業時数:	126.5	時間	⑱要件該当授業時数:	97時間	該当要件	⑲要件該当授業時数 / 総授業時数:	77%
⑳成績評価の方法:	オンライン学習(課題)参加度、授業への参加意欲、自己表現力(発表)を総合的に判断する。						
㉑自己点検・評価の方法:	<p>学校教育法第 109 条第 1項に定める評価を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1部～第3部それぞれの授業評価アンケート実施(無記名回答)講座全体の満足度、授業内容、教材使用状況、時間分配、相談の易さ、難易度、話し方の明瞭さなど全10項目、満足度80%以上を達成基準する ・調査結果は再就職支援プログラム開発委員会にて報告、改善策を協議する。 						
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート実施によって、修了生の追跡調査を行う。 ・修了生の講座への積極関与 メンターへの登用、体験談報告会への登壇を通じ修了後の状況を把握。 						
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	<p>(教育課程の編成)</p> <p>企業等を含めた教育課程の編成ための検討や取組に関する評価を行う再就職支援プログラム開発委員会設置、状況に応じて年数回の委員会を開催。</p> <p>委員会での意見について事業の企画・運営を担う再就職支援部会で共有・検討し、次年度のプログラムに反映。</p> <p>(自己点検・評価)</p> <p>プログラム開発委員会で授業アンケートの結果を報告し、改善策を協議。</p>						
㉔社会人が受講しやすい工夫:	通いやすい時間帯での実施、オンライン学習によるサポート、託児サービスの無料実施、修了後のサポート継続						
㉕ホームページ:	(URL) http://www.fwu.ac.jp/welcomeback/						

事務担当者名:	何 艶(か えん)	所属部署:	地域連携センター
連絡先:	(電話番号) 092-692-3198 (E-mail) manabi1@fwu.ac.jp		

- * パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。
- * 様式に記載いただいた内容と欄外の「※集計用データ(文部科学省使用)」に記載の内容が、一致しているかを必ずご確認ください。